

「喜寿を迎えて」

この歳まで大病を患うこともなく、夫婦揃って金婚式にも出席できたし、これからも健康で平穏な生活が出来ると思っていたが・・・

退職して早20年近くなります。

転勤の辞令を機に、即日退職届を送付して退社。これと云った仕事の「アテ」もないままの独断でしたが、これも土佐人の気質かも知れません。



退職時には未だ体力的にも自信があったし、高等職業訓練校のブロック建築課で、2年間失業給付を受けながら、机上学習や実習で、実際に鉄筋を曲げたり、セメントを練ったりして実技を学びました。又、課外実習では、実際に、需要家の塀を築いたり、寒風の中での作業も、今は良い思い出です。

その後、縁あって「ポリテクカレッジ」に、7年程勤務しました。

この短大の正式名称は「独立行政法人雇用能力開発機構、四国職業能力開発大学校附属高知職業能力開発短期大学校」と云う名前です。

この短大では、就職してすぐに職場対応できる為の、3つのコースがあります。生産技術科、電子技術科、情報技術科です。生産技術科では、コンピューター制御による高度な設備もあり、地域の会社の経営者も、よく視察に訪れていました。電子技術科で、コンピューターの制作、情報技術科では、プログラミングや情報処理能力と云った内容です。

この短大での、私の主な仕事は、朝、先ずパソコンのスイッチを入れて、厚生労働省から送られてくるデータをプリントアウトして、校長以下各部署への配布や、学生証の発行、及び成績証明書の発行等、あまり体力は必要としない仕事で、昼食は学食と云った生活で、10Kg 近く太ってしまいました。

元来、高血圧の傾向があったので、この頃から次第に体力が弱って来たと思います。



短大退職後は、少しばかりの畑で、ビニールハウス2棟で、小松菜や、ホーレン草と云った軟弱野菜とキュウリ等、見よう見まねで楽しんでおります。消毒が遅れて、葉っぱ

を虫に食われたりと、慣れない作業に苦戦しながらの毎日です。

最近、少し無理をすれば、疲れが残るようになり、年齢を感じます。好きなサツキもやめてしまい、今は、山アジサイ等、小品物を少し楽しんでいます。今年になって体調不良で、検査も含めて4度も入院し、不整脈と心臓の弁から少し血液が逆流している事が判明し、何れ手術が必要と云われています。

今は、無理のない程度に、以前から出荷している直販所「とさのさと」に、今も出荷しています。



3人の子供も独立し、それぞれに男の子が1人ずつ、3人の孫がいます。内2人は成人しており、下は中学生ですが、健康に気を付けて、孫の結婚式までは頑張るつもりです。

人生100年の時代、お互い健康で長生きしたいものです。